

調印式のご案内

岩手県大槌町と連携協力協定を締結

～ I T教育、新規雇用創造による自律的復興支援プロジェクトを展開～

関西大学と岩手県大槌町は、連携協力に関する協定を締結することで合意に達し、7月10日（火）15時から、下記のとおり調印式を行います。

この連携協定は、地域の潜在的人的資源（現在、常勤の職を持っていない地域住民、あるいは、職があればUターンを志望する地域外居住者）を育成し、地域に新産業を創生するとともに、雇用創出プロジェクトを推進することを目的に締結されるものです。

具体的には、I T関連企業を外部からの誘致ではなく、地域住民主体で新たに起業しその企業が自律的に経営されていくところまでサポートすることを計画しています。対象地域は、岩手県大槌町に限定して事業展開し、特定の地域での成功事例を構築することで、今後、他地域へも展開できるような基本モデルを構築します。

関西大学では、平成23年7月から「コミュニティ主体の復興をささえるコモンズの構築 - 『もやいの家』を通じた地域の再生」と題した展開研究を開始しており、平成23年12月までに宮城県気仙沼市、岩手県陸前高田市、釜石市、遠野市、大槌町の各市町の仮設住宅および行政に対して詳細な聞き取り調査を行いました。その結果、岩手県大槌町との連携協力が成功モデル構築に最もふさわしいとの結論に達し、このたびの調印の運びとなりました。

記

- 1 日 時 平成24年7月10日（火） 15時から
- 2 場 所 岩手県大槌町役場仮庁舎2階会議室（大槌小学校校庭内）
（岩手県上閉伊郡大槌町上町1番3号）
- 3 主な出席者

岩手県大槌町 町長	碓川 豊 氏
岩手県大槌町 副町長	高橋 浩進 氏
岩手県大槌町 副町長	石津 健二 氏
岩手県大槌町教育委員会 教育長	伊藤 正治 氏
岩手県大槌町 参与	末村 祐子 氏
関西大学 学長	楠見 晴重
関西大学地域連携センター・センター長	本西 泰三
関西大学地域連携センター・副センター長	与謝野 有紀ほか

（社会的信頼システム創生センター・センター長）

以 上

協力内容

相互の人的、知的資源の交流を中心として、次の事項について連携し協力を行います。

- 1 特色ある地域づくりに関すること
- 2 人材育成に関すること
- 3 地域産業の振興に関すること
- 4 学術研究に関すること
- 5 その他、双方が協議して必要と認める事項

期待される効果

- 1 大学の専門的な知識や学術的なデータ、およびこれまでの研究活動において蓄積されたネットワークを活かして、地域住民の主体的な地域コミュニティ再生や新産業創出へとつなげます。
- 2 地域コミュニティ再生、新産業創出に伴い、
 - 1) 地元の方々へのパソコン教室
 - 2) 地元高校生（場合によっては、中学生）のアプリ製作体験講習
 - 3) 1次産業（大槌町では震災以前においては漁業）第3次産業（大槌町においては吉里吉里などが観光資源）などの、既存の地域産業への貢献ができるアプリケーションの開発
 - 4) 地域住民のより大きな将来の構想の支援など、大槌町民を包括的に支援する施策への発展を見込みます。
- 3 これらのプロジェクトをモデルケースとして、他地域における復興支援へとつなげます。

主な連携事業（予定）

「『岩手県大槌町におけるIT教育、および新規雇用創造による自律的復興支援』プロジェクト」を中心として連携活動を展開します。このプロジェクトは本学、(株)アーティフィス、(株)アプリルによってチームを組み、IT関連企業を地域住民主体であらたに起業します。また、その企業が自律的に経営されていくところまでをサポートすることを計画しています。

このプロジェクトは具体的には3つのフェーズから構成し、

[フェーズ1] スマートフォンのアプリケーション作成を主とするIT関連技術者の人材育成教育

[フェーズ2] 地域の人材のIT企業の起業支援

[フェーズ3] ニアショア開発（国内におけるソフトウェア開発）の地としての大槌ブランドの形成支援

へと行政やNPOの支援を受けながら活動を展開していきます。

【添付書類】

- ・ 関西大学と大槌町との連携協力に関する協定書

このたびの調印式については、大槌町役場から岩手県政記者クラブ様、岩手日報社様にもご案内しています。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 広報室広報課 担当: 小野、依藤

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel. 06-6368-1131 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp